成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする

公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
https://www.kagawa-isf.jp

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2021 January | vol.79
1
年4回発行

理事長新年のご挨拶

TOP NEWS

企業経営者と知事との意見交換会を開催しました！

コロナ対策特集

国際取引支援セミナー「withコロナ時代のAI・IoT活用
～技術革新と海外展開への準備」を開催しました

香川県「食品商談会」を開催しました！

コロナ禍に対抗する製品でお客様を守る、会社を守る
香川発 新型コロナウイルス感染防止対応商品

特 集

もっと知りたい！希少糖

県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました！

希少糖食品製造技術普及講習会を開催しました！

「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました！

かがわ糖質バイオフォーラムからのお知らせ

第13回シンポジウムの開催

かがわ発！元気創出企業

「吉原食糧株式会社」

「おいしい！」だけでない、
栄養や機能性に優れた
「食材の基本」を提供するために

新年のご挨拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
理事長 大津 佳裕

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当財団の事業の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国の経済は大きな打撃を受け、今なお収束が見通せない厳しい状況が続いています。県内企業の皆様におかれましては、厳しい経営環境が長期化する中、事業の継続・回復のため前向きに事業経営に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

当財団では、昨年5月から、新型コロナウイルスの感染拡大により経営面で多大な影響を受けている県内事業者に対し、電話連絡によるプッシュ型で、国や県、市町の事業継続や雇用維持に関する各種支援施策の情報を提供し、最適な窓口へつなぐ取組みを行いました。

また、「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」を設置し、中小企業診断士などの専門家が事業者の実態に応じ、国・県・市町などの施策の活用方法などについて助言を行っています。併せて、財団内に開設している「香川県よろず支援拠点」においてもコロナ対策をはじめ様々な経営課題に関する相談に応じています。

さらに、オンラインでのセミナーや商談会を開催するなど、ウイズコロナに対応した企業支援にも取り組んでまいりました。

昨年11月19日には、「コロナ危機を克服する企業経営」をテーマに、浜田知事と企業経営者の方々との意見交換会を開催しました。テレワークやオンライン会議、WEBを活用した販路開拓、コロナ禍に適応した新商品・新サービスの開発等の創意工夫を凝らした先進的な取組みについての内容を本誌でご紹介していますので、参考にしていただければ幸いに存じます。

また、現在募集中の令和3年度「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」では、新しい支援メニューとして「withコロナ対応支援事業」を創設しました。新たな生活様式・ニーズに対応した商品・技術の開発やECサイト・オンライン商談に対応したシステム構築、WEB展示会出展等を対象に助成することとしていますので、是非ご活用いただきたいと思います。

本年も、本県産業の振興発展のため、香川県をはじめ関係機関の皆様と連携協力して、コロナ危機を克服する企業の取組みを支援するとともに、創業や新分野への進出、研究開発、販路開拓、生産性向上、人材育成、経営基盤強化など多様な企業ニーズに対応した総合的な支援に、職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

TOP NEWS

企業経営者と知事との意見交換会を開催しました！

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で17回目となる企業経営者と知事との意見交換会を11月19日、香川県庁で開催しました。

今回は、「コロナ危機を克服する企業経営」をテーマに、企業経営者10名の皆様にお集まりいただき、県からは浜田知事、近藤商工労働部長、財団からは大津理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者8名が参加し、コロナ禍における取組み事例や今後の展望などについて活発な意見交換が行われました。

CONTENTS

2021年1月 vol.79 発行（年4回発行）
かがわ産業情報21 1

【理事長新年のご挨拶】 1
【トップニュース】
企業経営者と知事との意見交換会を開催しました! 2
【コロナ対策特集】
国際取引支援セミナー「withコロナ時代のAI･IoT活用 ～技術革新と海外展開への準備」を開催しました 5
香川県「食品商談会」を開催しました! 5
コロナ禍に対抗する製品でお客様を守る、会社を守る 香川発 新型コロナウイルス感染防止対応商品 6
【特　集】
もっと知りたい!希少糖 7
【支援事例紹介】
県補助制度の活用及び当財団の支援を受けて届出し機能性表示食品として消費者庁から受理されました 8
【財団の活動】
かがわ冷凍食品研究フォーラム･かがわ機能性食品等開発研究会 第8回シンポジウムを合同で開催しました 8
知的財産セミナーを開催しました 9
「かがわ知財経営塾」を開催しました 9
「知財マッチングセミナー」を開催しました 10
「知財マッチング in かがわ2020 web面談」を開催しました 10
「FABEX関西2020」に香川県ブースを出展しました 10
「四国モノづくり合同広域商談会2020 in KOCHI」を開催しました 11
令和2年度 地域資源販路拡大支援事業
「地域資源販路拡大商談会2020 in かがわ」を開催しました 11
「HOSPEX Japan 2020」に香川県ブースを出展しました 12
【財団からのお知らせ】
香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール「地域の中小企業と経済活性化」～ 企業経営の第一線で活躍する講師のよる公開講座を開催中! ～ 12
令和2年度版「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」成果事例集を発刊しました! 13
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和3年度事業を募集しています 14
北四国地域（香川県･愛媛県）における知財ビジネスマッチングを開催します 15
四国地域知的財産活用セミナーをオンラインで開催しています 15
「かがわビジネスモデル･チャレンジコンペ2020」～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～ 16
かがわ発!創業シンポジウムを開催します! 16
「第25回機械要素技術展」に香川県ブースを出展します 16
【かがわ発！元気創出企業】
「おいしい!」だけでない、栄養や機能性に優れた「食材の基本」を提供するために 吉原食糧株式会社 17

大倉工業株式会社

取締役常務執行役員　**田中 祥友**

事業概要　包装用、光学用フィルム及び建築資材などの製造販売

コロナ対策として導入したテレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス）やWEBによる社内会議や商談により、社員の負担が軽減されるとともに、首都圏などとの距離や時間の溝が格段に小さくなり、生産性が大幅に向上した。今後、DXが企業戦略の基本として不可欠な要素となり、製造メーカーとして、5GやAIに対応した工場のデジタル装備を一層進め、「スマートファクトリー化」を図る必要があるが、県レベルでのデジタル化に向けた取組みをお願いしたい。

知事

これまで、AIの体系的な学習のためのゼミナールの開催や企業へのIoT導入のためのコンサルティング等を実施しているほか、令和２年11月には情報通信関連の人材育成、創作活動及び交流の場として、サンポートに「Setouchi-i-Base」を整備した。今後、産業界とも連携し、県全域としてデジタル化を進めていく必要があると考えている。

日生化学株式会社

代表取締役社長　**田中 秀和**

事業概要　合成樹脂製品の製造販売

合成樹脂製品のメーカーとして、コロナ対応製品の開発に取り組み、「Go To Eatキャンペーン事業」にも適した製品として、装着したまま飲食ができるフェイスシールド（シールド部が上方に可動）を開発した。昨今、世界的な環境課題として、合成樹脂業界ではCO_2対策やマイクロプラスチック対策があげられる。これらの研究開発は、単独の企業で行うのは困難であり、研究資金や他団体との連携に対して、幅広く行政のサポートをお願いしたい。

知事

新たに開発されたフェイスシールドは、ユニークであり大変素晴らしい。年末年始の時期を迎え、非常にタイムリーである。県では、プラスチック製品製造業に対し、これまでも競争力強化のための支援体制の構築や人材育成等に取り組んでおり、CO_2対策についても、県産業技術センターにおいて、既存のプラスチック製品の代替化や減容化などに取り組むこととしている。

株式会社FUJIDAN

代表取締役　**本田 展稔**

事業概要　段ボール製品の製造販売

県の助成金を活用してモバイルパソコンを購入し、営業部門に在宅勤務を導入したことにより、生産性が向上し、働き方改革にもつながっている。また、段ボールを使ったコロナ対策製品の開発に取り組み、「飛沫感染対策間仕切り」などを開発した。段ボールを使ったイベント開催を業務とする当社の関係会社では、コロナ禍のためにイベントの開催が困難になったが、巣ごもり需要をターゲットにした段ボールの工作キットのネット販売が好評である。

知事

段ボール間仕切りなどのコロナ対策製品は、まさにwithコロナの時代に必要とされている商品である。また、新たな需要を取り込むことで、コロナ禍による影響を最小限に留めようとする取組みは非常に重要であり、県としても補助制度をはじめ中小企業向けの支援施策の充実を図ってまいりたいと考えている。

株式会社スワニー

代表取締役社長　**板野 司**

事業概要　手袋とキャリーバッグのメーカー

コロナウイルスの影響で売上が落ち込む中、得たものもある。まず、リモートワークが進むことで出張や広い事務所が必要かそうでないか、見える化できたこと。次に、手袋の技術や素材を活かしたマスクの製造販売を始めるなど、社内で変革の機運ができたこと。また、マスクの販売にあたりECサイトで直接消費者に販売するDtoCの新たなビジネスモデルを構築することができ、未来が早くやってきた、と感じている。企業経営とは変化に対応することだ、ということを学ばせていただいた。

知事

手袋の素材や技術を活かしたマスクの製造販売などの新たなビジネス戦略や出張、事務所スペースの見直しに関するお話は、日頃からの組織文化が生み出したものだと感じた。県内外を問わず企業にとって厳しい状況が続く中、元気が出る形での取組みは非常に心強い。是非引き続き変化に柔軟に対応できる企業経営をお願いしたい。

タケサン株式会社

常務取締役　**武部 興征**

事業概要　醤油・調味料の製造及び佃煮惣菜等食品販売

小豆島で醤油、佃煮等の製造販売を行っている。食品を扱うため、コロナウイルス感染防止対策は徹底して行った。まず、工場勤務の社員を時差出勤させ、動線管理や毎日の検温を徹底した。営業支店の社員にはテレワークを許可し、社内会議や営業活動はオンラインに移行した。一方、アイデア出しの会議などオンラインでは難しい点もあり、課題である。今後は、コロナ禍による家庭向け商品への需要の高まりを受け、市販品の販売に注力し、小豆島の明るいイメージを商品に乗せ届けていきたい。

知事

テレワークやオンライン会議について、非常に工夫し取り組んでおられる。オンライン会議での課題についても乗り越えられるような新しい取組みに期待している。県ではテレワークに関する経費の助成を行っており、今後も引き続き企業の柔軟な働き方に対する支援を行って参りたい。

株式会社トクシンテクノ

代表取締役　**小林 有二**

事業概要　階段、手すり等建築金物の製造、据付

鉄製の階段や手すりの設計、製造、据付を行っており、新卒採用にも力を入れ、外国人エンジニアを積極的に採用している。計画から納品まで半年から数年とスパンが長いため、コロナウイルスの影響は来年以降出てくると考えている。その中で、我々は「トクシンマーケット」という鉄骨業界専門のネッ

トワークづくりを行っている。これにより、会議やプレゼンのオンライン化等、感染防止を図りつつ、他県の仕事を県内に取り込むことが可能であるので、このようなネットワークづくりにご協力いただきたい。

知事

独自の受発注ネットワークは、人手不足の解消や生産効率の向上に寄与する非常に前向きな取組みだ。かがわ産業支援財団では、四国合同広域商談会や関西圏を対象にした広域商談会への参加を支援するとともに、支援機関ネットワークや専門家を活用した協力企業の開拓の支援もできるので、ご相談いただきたい。

学校法人穴吹学園

専務理事　**大平 康喜**

事業概要　専門職短期大学・専門学校の経営

今春はコロナ感染拡大により入学式を中止しオンライン授業を実施してきたが、理解度も高く好評だった。日本に入国できない留学予定者にも母国でのオンライン授業を実施し、さらに世界12カ国を結びオンラインによる秋季入学式を開催した。また、アルバイトが激減し困窮している留学生に多くの支援が寄せられ、留学生が香川で就職する気持ちにつながっていくと思う。今後とも食料支援などが継続的に必要である。また、県との官学連携も広く進めたいのでご協力いただきたい。

知事

オンライン授業にいち早く取り組み、さらにそれを入国できない留学生についても活用しているほか、アルバイトが減少し困っている留学生の生活面のサポートもしている。非常にすばらしい取組みだと思う。留学生が将来的に、香川県で働きたいと思えるように、県全体で支援に取り組んでいきたい。

株式会社ＪＲ四国ホテルズ

代表取締役社長　**矢田 栄一**

事業概要　ＪＲ四国グループのホテル会社

新型コロナ感染症の影響で、宴会部門は今後も厳しい状況が続くと思われる。対応策として検温や消毒、３密回避策などを徹底している。そのうえで、利用しやすいプランを提案しながら販売促進に努めていきたい。また、コロナ支援で様々な補助制度を活用でき感謝している。今後、コロナ禍が落ち着けば、国内観光の地域間競争が激しくなるだろう。2021年は「四国デスティネーションキャンペーン」もあり、観光の回復のためご支援をお願いしたい。

知事

ホテルの利用が非常に落ち込み、たいへん厳しい状況であり、当面まだ厳しい状況が続くと思っている。大人数の飲食等が難しいところではあるが、いろんな工夫で、利用者に安心して使っていただけるようにし、GoToキャンペーンの関係を含めて、できる限り利用促進を図り、観光の事業回復に取り組んでいきたい。

琴平バス株式会社

代表取締役　**楠木 泰二朗**

事業概要　旅行・バス・タクシー、オンラインバスツアー

Something New! をスローガンに、コロナ禍における新しい旅の形として全国でオンラインバスツアーを展開し、オンライン上でのコミュニケーションを通じて地域のファンになっていただき、将来的にはリアルにこの地を訪れていただくということをコンセプトに事業に取り組んでいる。また、インバウンド需要を取り込むため、米国版オンラインバスツアーもスタートさせたほか、滞在型ワーケーションなど、民間連携で地域への誘客、関係人口創出といった取組みも行っている。

知事

オンラインバスツアーは大変反響を呼んでおり、米国版もスタートさせるなど、国内外に香川の魅力を発信していただき、コロナ収束後も将来的な誘客につながることを期待している。本県と関わりのある台湾、中国本土、韓国、香港にも広げていただければありがたい。県もインバウンドの回復に向けて一緒に取り組んで参りたい。

瀬戸内ワークス株式会社

代表取締役　**原田 佳南子**

事業概要　宿泊施設の運営、地域プロデュース事業

香川県のうどん文化を世界に広めることを目的に、三豊市で「UDON HOUSE」という体験型の宿泊施設を運営しているが、利用者が大幅減となったため、新たに、コロナに影響されない事業の柱として、UDON HOUSEで体験する6時間の体験をぎゅっと詰めこんだうどんのサブスクリプション「うどんのおうち」の商品開発に取り組んだ。また、一時休業した「瀬戸内ワークレジデンスGATE」はテレワーク需要をメインに再開した。今後は、荘内半島でのワーケーションの取組みも進めていきたい。

知事

「うどんのおうち」という新しいアイデアで、うどんのみならず、うどんを通じて地域の魅力をピーアールしていただいており、今後は、荘内半島など国内でもまだまだ知られていない香川の魅力も広く発信し、さらにワーケーションなど新たな需要を掘り起こしていっていただきたい。県も情報共有しながら、できることを支援して参りたい。

01 コロナ対策特集 国際取引支援セミナー「withコロナ時代のAI・IoT活用～技術革新と海外展開への準備」を開催しました

令和2年10月12日(月)、withコロナ時代におけるモノづくり企業への販路拡大支援としてセミナーを開催しました。また、本セミナーは新型コロナウイルス感染症対策として一般会場の定員を通常の半数までとした上で、オンラインツール(Zoomウェビナー)を併用し開催しました。

【開催概要】

開催日時　令和2年10月12日 (月) 14：00～15：30

開催場所　頭脳化センタービル2階 一般研修室 (一般会場)

ツール　Zoomウェビナー (オンラインセミナー)

参加人数　県内中小企業経営者等29名
(うち、オンライン参加14名)

招聘講師　株式会社ハート・クオリア
代表取締役　座間 安紀夫 氏

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9904　FAX.087-869-3710

02 コロナ対策特集 香川県「食品商談会」を開催しました！

地場産業の中で重要な位置を占める県内食品事業者の販路開拓を支援するため、自社商品を売り込む食品商談会を開催しました。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、本年度は、テレビ会議システムを活用した、オンラインによる、県内のセラー(食品事業者)と県外のバイヤーとの個別マッチング商談形式により開催しました。
県内会場には、香川県よろず支援拠点の販路開拓専門家による『**商品・商談会相談コーナー**』を設置し、セラーの様々な相談に対応しました。

開催日時　1回目：令和2 (2020) 年11月13日(金)　10：00～17：00 (商談先：東京)
2回目：令和2 (2020) 年11月24日(火)　10：00～17：00 (商談先：大阪)

開催場所　JRホテルクレメント高松 3階 楓・桐 (高松市浜ノ町1番1号)

商談形式　県内の食品事業者と、県外の百貨店等の食品担当バイヤーとの、テレビ会議システムを活用したオンラインによる個別マッチング商談会形式
- 県内会場と東京会場及び大阪会場を、テレビ会議システムを活用してオンラインで接続し、個別に商談を実施
- 商談時間は、1回につき約20分間。各バイヤーは1日で12社のセラー(食品事業者)との商談を実施

主　催　(公財)かがわ産業支援財団、香川県
㈱百十四銀行、㈱香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫

共　催　㈱日本政策金融公庫高松支店、㈱商工組合中央金庫高松支店、農林中央金庫高松支店、高松商工会議所
高松市中央商工会、三豊市商工会、香川県中小企業団体中央会、香川県信用保証協会
香川県信用農業協同組合連合会、香川県よろず支援拠点

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-840-0391　FAX.087-869-3710

03 コロナ対策特集

コロナ禍に対抗する製品でお客様を守る、会社を守る 香川発 新型コロナウイルス感染防止対応商品

コロナ禍の新しいライフスタイルに対応するために香川県内の企業が開発した、新たな製品、商品について、支援事例の一環として、ご紹介させていただきます。

スタイリッシュ飛沫防止間仕切り

◀仕様
三角柱の本体と脚パーツのシンプルな組み合わせ。

特長

段ボール＆ペット素材で軽量かつ環境に良く、
組立が簡単で段ボールと思わせない外観。
グッドデザイン賞エントリー予定。

㈱FUJIDAN　TEL.0879-25-2381

2時間でウイルスを99%減少 バイラルオフマスク

◀仕様
使うたびに洗濯しなくてもよく、洗ってもすぐに乾きます。出張の際などに便利です。

特長

抗ウイルス・消臭素材の洗えるマスクです。
2時間で表面のウイルスのほとんどに働きかけるだけでなく、マスク特有のいやな臭いも防ぎます。

㈱スワニー　TEL.0879-25-4101

長時間使用可能な、飲食、会食時のためのフェイスシールド「QUUZO(クウゾ)」

◀仕様
眼鏡をつけたまま装着することができ、帽子の着用も可能です。

特長

可動式なので装着したまま飲食が可能です。
シールドに折り目をつけることで視界が歪まないため長時間使用することができます。

日生化学㈱　TEL.0879-25-3201㈹

防寒しながら飛沫対策

◀仕様
ホットレイ®
ネックウォーマー
全8色　日本製

特長

従来より2割ほど長く、鼻まで隠してくれるネックウォーマー。遠赤外線効果により保温性にも優れ、アウトドア・スポーツ・屋外作業にも役立つ。また、オリジナル刺繍を入れることで企業ノベルティとしてもおすすめ。

㈱オーキッド　TEL.087-868-3600

面会ボックス『いつでも会えルンです』

◀仕様
顔が見える部分は透明のペット素材で周りの素材は段ボールで出来ています。

特長

主に高齢者施設の入居さんとご家族がなかなか会えない中で、以前の様に「会える」ようにと作成した。

㈱グッドワーク　TEL.087-899-0399

口元見えーる 優しさの伝達 透明マスク「リップマスククリア」

◀仕様

素材	本体/ナイロン100%（日本製）
耳紐	綿、アクリル、ポリウレタン（日本製）
縫製	日本
特徴	マスクにリップが直接接触しにくい立体型裁断と縫製により、口元の空間を確保しました。

特長

中小企業家同友会という経営者団体で学ぶ仲間と有限会社パッションクリエイティブ香西代表のマスクで何かアイデアない?との声掛けがあり、時代背景のニーズに合ったマスクの提案をしました。
口元が薄っすら見えることで、相手に自分の気持ちや考えを正しく伝えることができる。長時間リップマスククリアを装着しても息苦しさを感じにくい。極細ナイロン繊維の生地特性により、お肌のダメージを軽減できる。

㈱エルネストジャパン　TEL.070-5687-0415

特集

もっと知りたい！希少糖

県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました！

「うまいもん広め隊」※のひとつである「希少糖広め隊」が、10月19日に高松市立鶴尾小学校の6年生を対象に、希少糖の出前講座を開催しました。講座では、希少糖の特徴などについて、（一社）希少糖普及協会の早川茂代表理事会長が分かりやすく解説し、ジュヌヴィエーヴ料理教室の山中美妃子氏が、希少糖を使用した料理のデモンストレーションを行いました。

※県産食材の魅力を伝えるため、生産者や流通業者、販売業者、料理人などの専門家で構成される。

希少糖食品製造技術普及講習会を開催しました！

希少糖を使用した地域食品（佃煮やオリーブ加工品等）の開発につなげてもらうため、香川県産業技術センター発酵食品研究所が、11月5日に小豆島産業会館で、希少糖食品製造技術普及講習会を開催しました。食品関連企業10社から17名が参加し、希少糖含有シロップを活用した機能性表示食品の展開や、食品の風味の変化に関する講演の後、砂糖を使用した食品と、砂糖を希少糖含有シロップに置き換えた食品を食べ比べ、風味の変化を確認しました。

「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました！

11月7日、8日に高松市の丸亀町グリーンで希少糖の日※のイベント「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」（主催：（一社）希少糖普及協会、香川県菓子工業組合）が開催されました。県内の菓子店30店以上や高校・短大による希少糖を使用した菓子の展示・販売などが行われ、多くの家族連れなどで賑わいました。

※（一社）希少糖普及協会が、11月10日をいい糖（1110）の日として「希少糖の日」に制定しています。

かがわ糖質バイオフォーラムからのお知らせ

第13回シンポジウムの開催

糖質バイオ関係の人的ネットワークの構築と県内企業の糖質バイオ分野での研究・商品開発の更なる活性化を図ることを目的に、今年度は、県内の学術機関、公設試験研究機関による研究成果についての発表のほか、発表者を交えての意見交換を行います。

希少糖、糖鎖・複合糖質等の糖質バイオ分野に興味のある方はぜひ御参加ください。

日　時　令和3年1月29日(金) 13：00～

場　所　かがわ国際会議場

第12回シンポジウムの様子

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

県補助制度の活用及び当財団の支援を受けて届出し機能性表示食品として消費者庁から受理されました

㈱おおみね（土庄町）は、小豆島産長命草に含まれるクロロゲン酸の機能性（食後血糖値の上昇抑制など）に着目して開発した「長命草さぬきうどん」（冷凍食品）を機能性表示食品として消費者庁に届出しました。さらに、吉原食糧㈱（坂出市）が県産大麦（裸麦、イチバンボシ及びダイシモチ（讃岐もち麦ダイシモチ））の水溶性食物繊維である大麦β-グルカンの機能性に着目して開発した「『讃岐・大麦うどん』食後の血糖値上昇を抑える麺」（生うどん）を消費者庁に届出しました。

この度、下記の内容で届出が完了し、機能性表示食品として製造販売されています。

これまでに、機能性表示食品としては全国で約3,500件の商品が受理されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて23件となりました。うち12件は当財団が支援しました。

商　品　名	長命草さぬきうどん	讃岐・大麦うどん
事 業 者 名	㈱おおみね	吉原食糧㈱
届　出　日	令和2年3月25日	令和2年8月5日
機能性関与成分	クロロゲン酸	大麦β-グルカン
機能性内容	食後血糖値の上昇抑制	食後血糖値の上昇抑制
商品パッケージ		

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ 1F　TEL 087-869-3440　FAX 087-869-3441

かがわ冷凍食品研究フォーラム・かがわ機能性食品等開発研究会 第8回シンポジウムを合同で開催しました

平成25年度に設置した「かがわ冷凍食品研究フォーラム」（会長:香川短期大学　竹安宏匡教授）及び「かがわ機能性食品等開発研究会」（会長:香川大学農学部　田村啓敏教授）第8回シンポジウムを10月22日㈭にサンメッセ香川で開催しました。（参加者:56名）

【講演】

❶ 演　題　「バリアシュリンクフィルムを用いたガスパック包装による食品の消費期限延長と食品ロス削減並びに食品包装用ラミネートフィルムの動向」

講　師　大倉工業株式会社 合成樹脂事業部 商品化グループ
商品開発課長　阪内 邦夫 氏　　ラミネート技術課長　筒井 淳浩 氏

❷ 演　題　「HACCPを活かす考え方とやるべきこと」

講　師　公益社団法人香川県食品衛生協会
専務理事（兼）事務局長　松本 幸三 氏

❸ 演　題　「食品衛生法改正について
-HACCPの制度化、営業許可制度の見直し、営業届出制度の創設等-」

講　師　香川県健康福祉部 生活衛生課 食品衛生グループ
主任　池田 光広 氏

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F　TEL 087-869-3440　FAX 087-869-3441

知的財産セミナーを開催しました

県内企業等が、知的財産の重要性や活用についての関心や意識を高め、企業競争力の強化につなげていくため、知的財産セミナーを4回開催しました。

	開催日	開催場所	テーマ	講　師	受講者
1	11月26日(木)	高松市(香川産業頭脳化センタービル)	「海外ビジネス人材育成講座」 海外ビジネスと知財対策	独立行政法人工業所有権情報・研修館 海外PD　久永 道夫 氏	19名
2	12月3日(木)	高松市(香川産業頭脳化センタービル)	意匠法改正の概要と意匠権の活用事例	レクシア特許法律事務所 弁理士　松井 宏記 氏	14名
3	12月10日(木)	高松市(香川産業頭脳化センタービル)	営業秘密管理(オープン・クローズ戦略とトラブルから学ぶ営業秘密管理)	独立行政法人工業所有権情報・研修館 知財AD　古田 恵夫 氏	9名
4	12月17日(木)	高松市(香川産業頭脳化センタービル)	ホントは怖い著作権 ～ネット時代の落とし穴～	株式会社ループホール 弁理士　城田 晴栄 氏	20名

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-867-9332　FAX.087-867-9365

「かがわ知財経営塾」を開催しました

知的財産の活用を通じて、地域産業の活性化を図るため、香川県内の中小企業等の経営者などを対象に、「かがわ知財経営塾」を5回開催しました。今年は、INPIT作成のグローバル研修テキスト「ケーススタディで学ぶ!グローバル知財マネジメント」を題材として、ワークショップ形式でグループディスカッションを中心に行い、経営・知的財産の課題について話し合いを通じて理解も深めて学ぶ場を提供しました。受講者のアンケートでは、「商標、意匠、商品デザインの重要・必要性が認識できた。危険予知の必要性が学べた。グループディスカッションで人間関係も広がった。」などの意見が寄せられました。

本塾は、日本弁理士会と香川県が締結した「知的財産の活用による地域の活性化と産業の振興のための協力に関する協定」に基づき、日本弁理士会の協力を得て開催しました。

	開催日	テーマ	講　師	受講者
第１回	令和2年10月7日(水)	「特許の活用編」	ディスプロ株式会社 代表取締役社長　桑原 良弘 氏	14名
第2回	令和2年10月15日(木)	「トラブル対応編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	16名
第3回	令和2年10月22日(木)	「営業・提携編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	15名
第4回	令和2年10月29日(木)	「製造・販売・事業運営編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	14名
第5回	令和2年11月4日(水)	「戦略的活用編」	ディスプロ株式会社 代表取締役社長　桑原 良弘 氏	20名

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-9004　FAX.087-867-9365

「知財マッチングセミナー」を開催しました

大企業等の開放特許を活用した新製品の開発や新たな事業展開など、企業価値を高め競争力を強化するためのセミナーを開催しました。開放特許を利用して新製品を開発したい、関心はあるが進め方がよくわからない、という方向けに、身近な活用事例を中心に、開放特許をヒントにした新商品の開発企画・アイデア出しについて、富士通と野村総研の開放特許例を用い、グループワーク形式でビジネスモデルシートを作成しました。

会場では一部の開放特許紹介や香川県産業技術センターの利用シーンなどについてもパネル等で紹介しました。参加者からは、「グループワークでいろんなアイデアに触れることができ発想が広がった。」などの意見をいただきました。

開催日	テーマ	講　師	受講者
令和2年11月12日(木)	「開放特許をヒントにした新製品の開発」	ディスプロ株式会社 代表取締役社長　桑原 良弘 氏	11名

「知財マッチング in かがわ2020 web面談」を開催しました

大企業等が保有する開放特許等の活用を通じて、県内企業の新たな事業展開や新製品開発を促進するため、今年で4回目の「知財マッチングinかがわ2020 web面談」を開催しました。

今年度は、コロナ感染拡大防止を考慮し、開放特許等を保有する大企業等のシーズ紹介を無くし、初の取り組みとしてweb面談と対面面談を組み合わせた個別面談のみを、頭脳化センター研修室で開催しました。web面談会場では、今年度オンラインセミナー用として新たに導入した大型モニター等の機器を利用し参加企業様に分かりやすい環境で、面談の場を提供しました。

11月18日を皮切りに、以降12月末までの間で個別web面談を行い、県内企業が参加されました。

【対面　面談会場】

【web　面談会場】

【開催概要】

日　時　令和2年11月18日(水) 10：00～16：30と、以降12月末まで適時

場　所　香川産業頭脳化センタービル2F一般研修室、1F専門研修室

【開催概要】

区分	参加大企業等	参加県内企業	面談件数
個別面談	12社	14社	37件

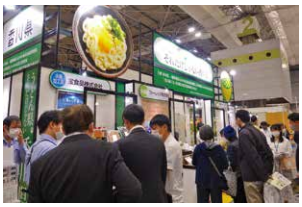
参加者の声

- 特許権の使用可否だけでなく、製品の課題解決に向けた話もでき、今後のつながりができた。
- 今後、自社で新規事業を進めるにあたり、情報交換が出来る可能性を感じた。

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-9004　FAX.087-867-9365

「FABEX関西2020」に香川県ブースを出展しました

関西圏において、本県の地域の資源を活用した食品等のより一層の販路拡大を支援し、県内企業の新たなビジネスチャンスを創出するため、「FABEX関西2020」に県内の中小企業者を集めた香川県ブースを出展しました。関西最大の業務用「食」の総合見本市で、外食業者、中食業者及び小売業者等の専門バイヤーなど、約2万人が来場しました。



【概要】

会　期　令和2年10月28日(水)～30日(金) 10：00～17：00

会　場　インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102)

主　催　株式会社日本食糧新聞社

来場者数　24,023名

【香川県ブース】

出展者数　13事業者

出展成果

商談件数	商談継続件数
552件	325件

出展企業の声

- 予想より多くの来場があり、内容の濃い話ができた。
- 主催者や財団でもコロナ対策を行っていただいたが、自社でも対策をしっかり考えて臨むことができたと思う。
- バイヤーに足を止めていただける販促品等の重要性を改めて認識した。

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

「四国モノづくり合同広域商談会2020 in KOCHI」を開催しました

令和2年11月5日(木)、セリーズ体育館にて「四国モノづくり合同商談会2020 in KOCHI」を開催。県内受注企業49社が参加しました。

開催日時 令和2年11月5日(木) 11:00～17:00
開催場所 セリーズ 体育館(高知県高知市高須砂地155番地)
主　催 (公財)とくしま産業振興機構、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)高知県産業振興センター
対象業種 機械・金属加工、樹脂加工等
面談方式 「事前予約面談」と事前予約なしでの「フリー面談」の2方式
参加発注企業 全体(東北から九州まで)47社　香川県4社
参加受注企業 香川県49社
面談件数 香川県165件

面談結果 香川県受注企業

①商談成立：	0件
②試作依頼：	2件
③見積依頼：	37件
④図面検討依頼：	20件
⑤後日訪問：	22件
⑥情報交換のみ：	77件
⑦その他：	7件
合計：	165件

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9904　FAX.087-869-3710

令和２年度 地域資源販路拡大支援事業
「地域資源販路拡大商談会2020 in かがわ」を開催しました

公益財団法人全国中小企業振興機関協会の中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用し、香川県の地域の資源を活用した製品を有する中小企業の販路開拓を目的として、首都圏等の小売店やセレクトショップ等のバイヤーを本県に招き、新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで商談会を開催しました。

【開催概要】

開催日時 令和2年11月25日(水) 13:00～16:00
26日(木) 10:00～14:00
開催場所 株式会社 河内小学校(三豊市)
主　催 公益財団法人かがわ産業支援財団
対象業種 ① 特定地場産品(食品を除く)、② 地域の資源を生かした製品(食品を除く)、③ ①・②を生かした「withコロナ時代」製品(食品を除く)を有する事業者
参加企業 セラー 22社、バイヤー 15社
内　容 両日ともバイヤーがセラーの商談テーブルを回遊する形式の商談会を実施
商談結果 (※速報値)

面談数	成約	見積依頼	試作・サンプル依頼	後日訪問約束	情報交換・その他
297	2	12	4	48	228

参加セラーの声

- 対面営業がコロナ禍で減少している中での開催に感謝している。
- コロナ禍で自社での展示会・商談会開催が困難な中、貴重な場となった。
- コロナ終息後に、日本の伝統工芸品に興味のある海外バイヤーとの商談会があると嬉しい。

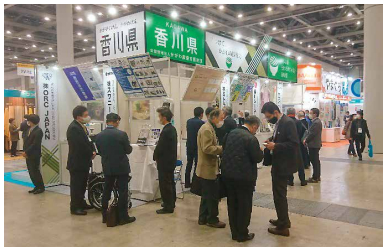
参加バイヤーの声

- コロナ禍で海外商品を調達することができないので、とても良かった。
- 会場が小学校というのは目新しくて楽しかった。
- 作る側と売る側がしっかり繋がれば、地域資源を豊かにすることに繋がることができると実感した。

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9904　FAX.087-869-3710

「HOSPEX Japan 2020」に香川県ブースを出展しました

県内のものづくり企業に対して、今後の成長が見込まれる医療・福祉分野への新規参入等を支援する取組みとして、医療・福祉分野の総合展示会である「HOSPEX Japan 2020」へ香川県ブースを出展しました。出展企業7社にとって、医療機器メーカーや病院・介護施設関係者に、自社製品・技術のPRや、ニーズを把握する絶好の機会になりました。



【概要】

会　期　令和2年11月11日（水）～13日（金）10：00～17：00

会　場　東京ビッグサイト（東京都江東区有明）

主　催　（一社）日本医療福祉設備協会、（一社）日本能率協会

来場者数　6,279名（※速報値）

【香川県ブース】

出展企業　㈱ORC JAPAN、香川シームレス㈱、㈱ジョーソンドキュメンツ、㈱スワニー、㈱ミトラ、勇心酒造㈱

出展成果　ブース来場者数689名、商談件数103件（※速報値）

出展企業の声

- ●今まで参加した展示会では出会えない企業とのつながりが持てた。
- ●コロナ禍の中、来場者は少なかったが、実売につながりそうな質の高い内容があったので、今後、継続取引につなげたい。
- ●他業種の方からいただいた当社製品に対する意見や要望等は新鮮なものばかりであり、大変参考になり、今後の製品企画に活かしたい。

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課 健康産業プロジェクトチーム
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール「地域の中小企業と経済活性化」～ 企業経営の第一線で活躍する講師のよる公開講座を開催中！ ～

公益財団法人かがわ産業支援財団と香川大学大学院地域マネジメント研究科とは、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開講しております。

講義風景イメージ

日　程　講座概要一覧のとおり

時　間　18：20～19：50（90分間）

場　所　香川大学　幸町南キャンパス
総合教育棟（DRI棟）1階・第11講義室（高松市幸町2-1）
※開催場所の講義室が変更になる場合があります。

講　師　講座概要一覧のとおり

開催形態　公開講座（地域マネジメント研究科の学生に加えて、一般公募※の申込によりどなたでも聴講できます。）
※定員30名

受講料　無料

お申込方法　香川大学地域マネジメント研究科HPからもしくは受講申込書をダウンロードし、FAXまたはメールにてお申込ください。

お申込先　香川大学地域マネジメント研究科 香川県高松市幸町2-1
TEL：087-832-1955
FAX：087-832-1988
（祝祭日、大学の休校日を除く平日10：00～18：00）
MAIL：gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp
H P：http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/

【講座概要一覧】

	日程	講師	講義概要
第12回	1月12日（火）	株式会社二宮石材 代表取締役　二宮 力 氏	「日本の銘石　庵治石を世界へ」～その展望と取り組みについて～
第13回	1月19日（火）	メロディーインターナショナル株式会社 CEO　尾形 優子 氏	最新のIoT医療機器のオンライン診療ビジネスに向けた取組み
第14回	1月26日（火）	ルボア株式会社 代表取締役　林 周二 氏	「売り込まないがコンセプト」～ブランディング手法とその考え方
第15回	2月2日（火）	株式会社オーキッド 取締役　廣瀬 隆行 氏	お客様に必要とされるものづくり
日程変更回 ※第11回分	2月16日（火）	株式会社村上製作所 代表取締役社長　村上 幸平 氏	「経営計画書は魔法の書」～経営計画書から始まった経営改善～

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

令和2年度版「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」成果事例集を発刊しました！

平成29年度に造成した総額118.5億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用し、県内の中小企業者等に対し、研究開発から販路開拓、生産性向上、人材育成までの総合的な支援を行っています。

この度、新かがわ中小企業応援ファンド等事業を活用した数多くの事例の中から、優れた成果をあげた、または期待される事例をメニューごとに広く紹介することを目的に本事例集を作成いたしました。

今後、新たな分野への進出や新商品の開発等をご検討の中小企業者のほか、関係機関の皆様にご覧いただき、今後の事業展開等のご参考にしていただければ幸いです。

【掲載事業】

❶ 新分野等チャレンジ支援事業

事業名
日本初モジュール組立型BMX・スケートボードパーク開発事業

事業者
株式会社都村製作所

❷ 新分野等チャレンジ支援事業

事業名
ユニバーサルデザインの視点からの人に優しい介護記録システムの開発と機能検証

事業者
日本メディカル株式会社

❸ 競争力強化研究開発支援事業

事業名
ボルトジョイント型パラミックス工法（仮設桟橋工法）の開発

事業者
日本ジュウキケンセツ株式会社

❹ 競争力強化研究開発支援事業

事業名
こんにゃく（マンナンミール）のドライ化技術の開発

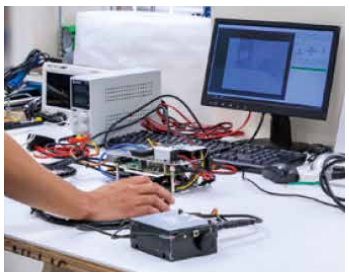
事業者
ハイスキー食品工業株式会社

❺ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

事業名
時代の激変に対応するため、内的要因と外的要因にチャレンジする生産性向上プログラム

事業者
一光電機株式会社

❻ 創業ベンチャー支援事業



事業名
コンクリート構造物の塩害劣化検査サービス

事業者
株式会社Soilook

❼ 農商工連携支援事業

事業名
規格外農林水産物等を活用した新たな冷凍食品等の開発と販路開拓

事業者
共栄冷凍水産株式会社

❽ 地域資源ブランド化・販路拡大支援事業

事業名
産業用手袋における市場開拓を目的とした産業用オリジナルブランドの事業化

事業者
株式会社ダイコープロダクト

❾ 県外見本市出展支援事業

出展見本市
第71回日本産科婦人科学会学術講演会

事業者
メロディ・インターナショナル株式会社

❿ 海外見本市出展支援事業

出展見本市
FOOD JAPAN 2019
（シンガポール）

事業者
石丸製麺株式会社

【掲載記事抜粋】

新分野等チャレンジ支援事業　　事業年度：平成30年度

株式会社都村製作所（琴平町）

事業名　日本初モジュール組立型BMX・スケートボードパーク開発事業

～記事抜粋～

事業のきっかけと背景

国内における体育器具や公園遊具専門メーカーのパイオニアとして、約130年の歴史を誇る同社。身近な公園の遊具からプロスポーツの公式競技器具まで幅広く手掛け、個人向け健康器具のネット販売、スポーツ施設向けの大型4面ビジョンなど、新しいニーズにも意欲的に応えている。同社が近年力を入れている競技のひとつが…

事業化のポイント　**今後の事業展開**

●掲載記事はこちら。ぜひご覧ください！
https://www.kagawa-isf.jp/jouhou/seika.htm
※冊子をご希望の方は、ファンド事業推進課（TEL 087-868-9903）までご連絡ください。

「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和３年度事業を募集しています

県内の中小企業者等が新たに行う研究開発、販路開拓、生産性向上及び人材育成等の取組みを支援します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が県内の中小企業者等に与えた影響を踏まえ、「withコロナ」時代に対応するための支援メニューを新設しました。県内の中小企業者等の皆様の積極的な御応募をお待ちしております。

【募集メニュー】

支援メニュー	対象事業	助成率限度額	採択予定件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	新分野進出等のための商品・技術の開発、試作品作成、実証試験、可能性評価等	2/3以内 100万円	7件程度
② 競争力強化研究開発支援事業	独創的な研究開発や特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等	2/3以内 500万円	10件程度
③ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業	専門コンサルタントを活用した製造現場などにおける業務プロセス等の改善や技術・技能の向上にかかる人材育成事業	2/3以内 200万円	3件程度
④ 創業ベンチャー支援事業	創業しようとする者又は創業後間もない者などが行う、新規性、独創性のある先駆的な事業	2/3以内 200万円	3件程度
⑤ 農商工連携支援事業	農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して、県内の中小企業者が取り組む新商品や新サービスの開発等	2/3以内 300万円	3件程度
⑥ withコロナ対応支援事業【商品・技術開発枠】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による新たな生活様式・ニーズに対応した商品や技術の開発等	2/3以内 80万円	10件程度
⑦ withコロナ対応支援事業【販路開拓枠】	ECサイトやオンライン商談に対応したシステム等の構築やWEB展示会出展等のオンライン販路の開拓等	35万円	6件程度

【応募方法】

申請書様式等は、（公財）かがわ産業支援財団のホームページ（https://www.kagawa-isf.jp/）からダウンロードできます。
応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、提出してください。

【助成の対象となる事業の決定】

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。
申請者は審査会でプレゼンテーションを行っていただく予定です。

【募集期間】

令和2年11月13日（金）～令和 3年 1 月26日（火） 17時必着

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

新かがわ中小企業応援ファンド等事業　検索

北四国地域（香川県・愛媛県）における知財ビジネスマッチングを開催します

四国経済産業局事業（中小企業知的財産支援事業）において、一般社団法人愛媛県発明協会と連携して、愛媛・香川両県の企業などが所有する開放特許等の技術シーズを有効活用することにより、新製品開発や新たな事業展開などの経営の活性化に向けて、より効果的・効率的に支援させていただくため、令和3年2月に知財ビジネスマッチングを開催します。

	香川開催	愛媛開催
開催日時	令和3年2月10日（水）	令和3年2月19日（金）
開催場所	香川産業頭脳化センター	テクノプラザ愛媛
内容	香川県内のシーズ提供企業（25社）と香川・愛媛県内企業との個別面談	愛媛県内のシーズ提供企業（23社）と愛媛・香川県内企業との個別面談
	個別面談は事前予約制で、参加企業には、時間を調整の上、後日連絡いたします。	
エントリー締切	令和3年1月15日（金）	
エントリー先	かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課（両開催とも）	
提供シーズ	機械・金属加工 6社 12件 電気・制御・情報・通信 7社 18件 化学・繊維 13社 31件 土木・建築 2社 5件 医療・介護 2社 2件 食品 13社 26件 その他（含研究機関） 5社 27件	

提供されるシーズ（127件）・ニーズ（18件）の具体的な内容（技術概要、提供企業、開放特許番号など）については、お問い合わせ先までご連絡ください。また、必要に応じて、当財団のコーディネーターが訪問して、ご説明することも可能です。

四国地域知的財産活用セミナーをオンラインで開催しています

四国経済産業局事業（四国地域知的財産活用セミナー事業）において、四国地域の中小企業及び支援者等を対象に、「海外展開」、「地域おこしビジネス」、「デザイン経営」での知的財産の有効な活用方法について知的財産セミナーを開催することにより、中小企業の知財経営力の向上に繋げていくため、身近な事例を交えながら、オンラインによるセミナーを開催しています。

本セミナーは「Microsoft Teams」によるオンラインセミナーとなります。受講料は無料となりますのでお気軽にお申込みください。（ただし、通信に要する費用は、受講者の負担となります。）

	日　時	テーマ・内容	講　師
海外展開	令和3年1月26日（火） 13:30～16:30	**海外展開における知的財産問題～中国・ASEANを中心に～** ●海外への事業展開目的 ●海外展開におけるトラブル事例 ●海外展開のための各プロセスでのリスク ●模倣品、技術流出対策 ●海外展開の費用・補助制度 ●海外展開における知的財産戦略	BLJ法律事務所 代表　弁護士　遠藤 誠 氏
地域ブランド	令和3年2月2日（火） 13:30～16:30	**地域ブランド発掘・認知度向上** ●地域ブランドって何？ ●地域ブランド化の成功・失敗事例 ●地域ブランドとSDGs ●地域ブランド化へのプロセス ●知的財産と付加価値化 ●魅力を伝えるプロモーション ●ブランドコミュニケーション戦略	株式会社ブランド総合研究所 代表取締役　田中 章雄 氏
デザイン経営（1回目）	令和3年1月15日（金） 13:30～16:30	**「デザイン経営」を知る** ●デザイン経営って何？ ●デザイン経営をビジネスに活かすには ●デザイン経営の取り組み事例 ●デザイン経営の実践	香川大学 創造工学部 教授　大場 晴夫 氏
デザイン経営（2回目）	令和3年2月24日（水） 13:30～16:30		

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-867-9332　FAX.087-867-9365

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～

財団では、香川県の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、平成23年度から、新しい独創的なビジネスモデルを募集しコンペを行い、今後の成長が期待できる起業家を表彰してきました。10回目となる今年度は、昨年9月から公募を開始したところ、26件の応募がありました。2月5日（金）に開催される最終選考にて、書類選考を突破した応募者がビジネスモデルの公開プレゼンテーションを行い、受賞者が決定・表彰されることとなります。是非、皆様のご来場をお待ちしております。

昨年度の受賞者

日　時　令和3年2月5日（金）13：00～17：00

場　所　かがわ国際会議場（高松シンボルタワー タワー棟6階）

定員（予定）　100名（先着順、事前申込み制）　**参加費**　無料

プログラム（予定）
13:00　開会
13:10　「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」プレゼンテーション
16:40頃　「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」審査結果発表・表彰式

※新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、マスクの着用や手指消毒・検温等にご協力をお願いします。なお、感染拡大状況に応じ、開催形態やスケジュール等の変更、開催規模の縮小等を行う場合があります。

（参考）

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」最終選考・表彰式

公開プレゼンテーションを行い、審査員による審査により最優秀賞1件、優秀賞2件を決定・表彰

- 最大200万円の助成金（最優秀賞のみ）
- 財団のインキュベート工房に入居する場合、賃借料を1年間無料提供（最優秀賞のみ）
- 県内金融機関による融資金利優遇ほかの支援（最優秀賞、優秀賞）
  ※各金融機関が定める審査等の手続きが必要です。

かがわ発！創業シンポジウムを開催します！

財団では、香川県からの補助を受け、創業を決意した方や、事業を立ち上げて間もない方が直面する、多くの経営上の悩みや課題の解決に役立つシンポジウムを開催します。特別講演として、全国的に活躍されている経営者から、自身の創業体験を踏まえた、創業予定者や創業後間もない方の課題解決につながる内容をお話しいただきます。

また、香川県内で創業し、事業・経営にまい進されている先輩創業者に、自身の創業事例を発表いただく機会も設けています。

創業に興味のある方、創業直後の方や経営者として今後の進むべき方向の参考にされたい方など、奮ってご参加ください。

開催日　令和3年3月1日（月）13：00～16：50

場　所　香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室（高松市林町2217-15）

特別講演　WAmazing㈱　代表取締役　加藤 史子 氏

事例発表　㈱カワニシカバン、NPO法人香川県空家空地管理センター（予定）　**受講料**　無料

その他　特別講演の講師と事例発表者を交えたパネルディスカッションも行います。

※新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、マスクの着用や手指消毒・検温等にご協力をお願いします。なお、感染拡大状況に応じ、開催形態やスケジュール等の変更、開催規模の縮小等を行う場合があります。

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-840-0391　FAX.087-869-3710

「第25回機械要素技術展」に香川県ブースを出展します

香川県の主要産業である「ものづくり基盤技術産業」の振興を図り、成長分野への進出を支援することを目的に、幕張メッセで開催される国内最大級の専門技術展「第25回機械要素技術展（M-Tech）」に（公財）かがわ産業支援財団及び香川県ブースを出展します。皆様方のご来場を多数お待ちしております。

【第25回機械要素技術展】 https://www.japan-mfg.jp/mtech/

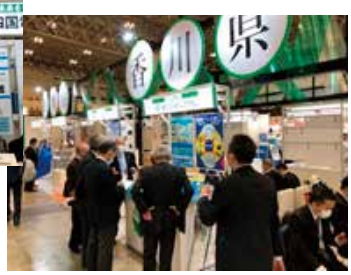
開催期間　令和3年2月3日（水）～5日（金）（3日間）

開催場所　幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）

出展規模　5小間（5.4m×15m）

出展企業　㈱コヤマ・システム、髙木綱業㈱、高松帝酸㈱、㈱長峰製作所、㈱ハガタ屋、バリオスター㈱、㈱プロテック、㈱レクザム、㈱WaveEnergy

昨年度の開催風景（香川県ブース）


昨年度の開催風景の様子

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

かがわ発！
元気創出企業

「おいしい！」だけでない、栄養や機能性に優れた「食材の基本（ベース）」を提供するために

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、坂出市にある「吉原食糧株式会社」を訪ねました。

「吉原食糧株式会社」は、明治35年に創業した製粉会社。戦前までは、小麦製粉と主に大麦の精麦を行っていたが、戦後は小麦の製粉が主となった。現在トップを担う吉原良一氏は、入社した時に既に国内の小麦粉流通は形成され終わっていると感じ、独自の販路を開拓するとともに、さぬきうどんの原料となる最高位の小麦粉を開発。また、時代のニーズに合わせてかつて生業としていた大麦加工を再度商品化しようと、機能性食品等の商品開発を行うように。その背景にある同社が掲げる「2つのミッション」と今後の展開について吉原社長にお話を伺った。

代表取締役
吉原 良一 氏

「我々が担っているのは農産物を粉体へと加工する部分。食材の基本となる部分を支える企業として、何ができるのかを常に考えています」と話す吉原社長

吉原食糧株式会社

代表者　吉原 良一 氏
所在地　坂出市林田町4285-195
電話番号　0877-47-2171

https://flour-net.com/

「ハイブリット小麦粉」の開発など、独自の視点で生み出された商品とその開発技術に対して多くの評価を得ている

製粉業として香川県に根付く、明治35年創業の老舗企業

明治35年に創業した吉原食糧株式会社は、さぬきうどん・パン・菓子用等の原料小麦粉を製造する製粉企業。創業当時から戦前までは小麦製粉と共に大麦を加工する精麦を主力としていたが、戦後は日本人の食生活に合わせて大麦の加工は取りやめ、小麦製粉事業へと移行していった。

「1985年に坂出市富士見町から林田町の現・工場に移設し、年間約15,000tの小麦粉を製造しています」と4代目となる吉原良一社長は語る。吉原社長が入社した時にはすでに製粉会社として安定していたが小麦粉生産量は現在の55%程度だった。「入社した時点で、既に国内の小麦粉の流通は大手製粉企業と卸のルートが確立され、末端流通まで仕上がっていた。そこに当社のような地方の製粉会社が営業しても、新たに入る隙間が殆ど無い状態だったのです」。

「大手企業と同じ立ち位置で同じような商品を作っているだけでは、いずれ立ちいかなくなる」と感じた吉原社長。全国に直接出て行こうと決意し、2007年FOODEX JAPAN（フーデックスジャパン）に出展。ちょうど国内産小麦が不足気味だったこともあり、中堅レベルの卸企業とマッチングすることができた。「展示会に出るには費用も必要。しかし市場の空気感を感じること、直接意見をお聞きすることができるのは大きい」と吉原社長。以来、毎年東京と大阪の産業展に継続して出展している。

FOODEX JAPANの出展経験から「とにかく「やってみる」ことが大切だと実感しました」と吉原社長。写真はFOODEX JAPAN

食文化のベースを支える企業としての使命とは

同社には、企業使命として掲げた2つのミッションを掲げる。一つは香川県の製粉会社として「さぬきうどんを“原料小麦粉の開発・供給”と“食文化”の両面から支え、更なる発展に寄与すること」である。

香川県産小麦「さぬきの夢」の開発当初から携わり、2004年NHK番組「プロジェクトX」でも紹介された当社。オーストラリア産と香川県産の特性を融合したハイブリット小麦「讃岐プレミアム」を開発するなど、さぬきうどん用小麦粉の最高位として、確固たる地位を確立している。「同じ製品を作り続けるだけでは5年後も安泰とは言えない。アンテナを伸ばして、ニーズを先読みして行動していくことが不可欠」と吉原社長。当社はさぬきうどんの歴史とともに、企業として成長を続け、香川県には欠かすことのできない存在となっている。

それとともに、大麦文化の再生も念頭にして掲げたミッションが「麦(小麦と大麦)の無限の可能性の中から「新しい美味しさ」と「健康機能性」を引き出し、新しい“食の世界”を作ること」というもの。100年以上にわたって麦加工を営み、香川県の食文化に立脚し続けてきた製粉企業として、さぬきうどん文化を支えることと同様に、香川県産の栄養価の高い大麦の復活もまた、麦加工を生業とする企業として果たすべき使命という。そこで着目したのが、大麦の機能性だった。

未来を見据えた挑戦で新たな食文化をつくる

大麦には、水溶性食物繊維「大麦β-グルカン」が多く含まれるなど、健康に寄与する栄養成分が多い。健康志向が高まってきた時代、香川県には生産量全国第2位の大麦が存在する。しかし「粒」で流通し麦茶や焼酎に加工されるのみで、粉体にして食品化するには至っていなかった。そこで当社は4年をかけて、小麦製粉とは全く異なる粉砕技術を確立し、もち麦パンケーキミックス(日本初)や大麦パンケーキミックス(日本で2社)、讃岐・大麦うどん(日本初)など「機能性表示食品」を開発した。コロナ禍の「内食需要」も相まって売上は好調だ。

大麦製品だけでなく、小麦を用いた新製品の開発も体質改善、健康志向分野を増やしている。当社はヘルスケア食分野を目指して商品開発を進めているのだ。アスリートやフィットネス市場を対象とした、動物性・植物性蛋白4種を含む高プロテイン麺「マッスルパスタ」は今年テレビ番組で取り上げられ、オンラインショップのアクセスが急激に増えるなど注目されたが「話題性だけでは企業は育ちません。注目していただいている間に足場を築いて、継続的に収益を上げながら新市場を作り社会の要望に応えるのが私たちの使命」と揺るがない。

「新分野にチャレンジしていくことは、当社が生存するためにやり続けるべきこと。消費者の食の嗜好性や要望は10年で大きく変わるから、供給側である企業もまた変わり続けないといけない。社会の要請に応えるべく企業の方向性を明確にし、どのような価値を持つ製品を市場に供給できるのかが吉原食糧に問われている」とにこやかな中にも真剣なまなざしで話す吉原社長。小麦のエキスパートとしての歴史を守りつつ、進化を続け、香川をけん引していく。

整然と並んだ生産ライン。多品種対応と品質安定をともに実現したうえで1時間あたりおおよそ6トンの生産を可能にするための製粉システムが構築されている

「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」の設置

財団は新型コロナウイルス関連に特化した、特別相談窓口を設置し、中小企業診断士などの専門家が、事業者の実態に応じ、経営相談と国・県・市町などの施策の活用方法などについて助言します。

窓口電話番号
087-840-0391（受付時間　平日8：30～17：15）

●設　置　日：令和２年５月７日（木）～令和3年3月31日 平日・毎日
●設置時間：8:30～17:15

●設置場所：香川産業頭脳化センタービル１F（高松市林町2217-15）
●対　応　者：中小企業診断士等専門家による対応
●相談方法：来訪、電話、ＷＥＢ等による相談【事前予約制】
- 来訪による相談を希望される場合は、感染防止対策を行ったうえで対応します。
- 電話による相談を希望される方には、専門家から電話をいたします。

●実　　績：窓口に電話いただいた件数：698件
専門家による相談対応件数：888件（12月18日現在）

「香川県よろず支援拠点」の休日経営相談

窓口電話番号
087-868-6090

財団内に設置している香川県よろず支援拠点では、新型コロナウイルス関連に特化した、土日祝日対応の無料経営相談を実施しています。ご利用ください。

●開設時間：10:00～14:00
●設置場所：香川産業頭脳化センタービル2F
香川県よろず支援拠点
●相談方法：来訪、電話、ＷＥＢ等による相談【事前予約制】

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL 087-840-0391　FAX 087-869-3710

ネクスト香川 ＆ 香川産業頭脳化センタービル　インキュベーション施設の入居者募集！

NEXT香川

●インキュベート工房

新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に、最適なスペースを提供する県有施設

❶情報通信型（令和2年11月開設）

資　格：創業5年以内または県内で新たに情報処理関連事業を営む者
期　間：３年間（最長５年間）
部屋数：４室（約13～29㎡）空き３室
その他：無料駐車場１台
インターネット無料接続

❷一般型

資　格：創業5年以内または新事業進出等の研究開発を行う者
期　間：３年間（最長13年間）
部屋数：10室（約64～137㎡）空き３室
その他：無料駐車場２～４台

★共通事項

賃　　料：1,560円/㎡（５年以内）
1,870円/㎡（５年超）
光 熱 費：実費
入居審査：入居希望月の前月上旬に
プレゼンテーション審査により決定

香川産業頭脳化センタービル

●ＩＴスクエア

ＩＴを活用した事業の創業、新分野進出、新サービスや新製品の研究開発などに取り組むためのスモールオフィス

資　格：創業５年以内
期　間：１年間（最長５年間）
部屋数：11室（約6.5㎡）空き４室
賃　料：20,950円/室・月（共益費込）
その他：無料駐車場１台
インターネット無料接続

●インキュベータルーム

空き状況は下記までお問合せ下さい。

資　格：創業予定、創業間もない者
期　間：３年間（最長５年間）
※5年を超える時は
リサーチルームとして入居可
賃　料：2,750円/㎡（共益費込）
その他：無料駐車場1台

★リサーチルーム

資　格：企業・団体等の研究開発、情報処理、商品開発部門
期　間：２年間（２年ごと自動更新）
賃　料：3,740円/㎡（敷金あり）
駐車場：貸面積25㎡あたり1台無料

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-3700　http://www.kagawa-isf.jp/

総務部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL（087）840-0348 FAX（087）869-3710
施設管理課
TEL（087）869-3700 FAX（087）869-3703
企画情報課
TEL（087）868-9901 FAX（087）869-3710
ファンド事業推進課
TEL（087）868-9903 FAX（087）869-3710

企業振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL（087）840-0391 FAX（087）869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL（087）868-9904 FAX（087）869-3710

技術振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL（087）840-0338 FAX（087）864-6303

地域共同研究部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL（087）869-3440 FAX（087）869-3441

知的財産支援部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL（087）867-9332 FAX（087）867-9365
知的財産普及課
TEL（087）869-9004 FAX（087）867-9365

この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、
グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。　印刷：香川印刷株式会社